



上北谷 笑楽好 だより No. 1 5

チャレンジ通信

令和5年3月27日

～感染予防対策に、引き続きご協力をお願いします～



努力を忘れず、力強く前進を ～第130回卒業証書授与式を終えて～

校長 藤ノ木 昌史

3月24日、ひまわり学年7名の卒業証書授与式を無事挙行することができました。



コロナ禍の3年間、様々な制限のある中で、中・高学年を過ごし成長した卒業生ですが、今年1年間、学年名のとおり、明るく元気あふれるリーダーとして活躍しました。素晴らしい卒業生として、巣立ってくれたものと喜んでいきます。

式の中では、卒業証書を受け取った後、一人一人「中学校に行って頑張りたいこと」を中心にステージ上で発表しました。一人一人が、思いや決意を堂々と発表していました。「一人一人が主役、みんなの笑顔が輝く学校」を学校経営の柱として全職員で取り組んできましたが、卒業式でその姿を具現できたようで、卒業生の姿を見ながらうれしくなりました。



式辞の中で、「卒業証書に込められた意味や思い」、「上北谷小の卒業生として誇りをもって、これからも成長してほしいこと」を伝えました。「なりたい自分を描き、努力することが大切」とはなむけの言葉を贈りました。中学校という新しいステージで一層の活躍を期待しています。



ご来賓の皆様からも、「とても素敵な式だった」「温かい気持ちがあふれる式だった」と、ありがたいお言葉をいただきました。卒業生、在校生が心をつなげて作り上げた卒業式になったと感じています。

在校生も別れを惜しみつつ、上北谷小学校の良い伝統を引き継ぎ、一層発展させていく気持ちを高めることができました。



お世話になりました。



3月末の異動で、3名の職員の異動が決まり、上北谷小学校とお別れすることになりました。

保護者の皆様、地域の皆様、大変お世話になりました。

在任2年



再任用教員として2年間、勤務させていただきました。

私にとって、上北谷とは…。

その1：私の小学校の時の恩師がおられる所。その2：母と栃尾鉄道に乗った記憶の所。その3：守門山と刈谷田川が織りなす所
まだあると思いますが、明るく優しい子ども達、それも孫の年齢に近い子ども達との日々は、充実して楽しいものでした。

一人一人に何か残せたかという自信はありませんが、保護者の皆様、地域の皆様に支えられてやってこられたことに感謝申し上げます。上北っ子に幸多かれ。新任地でも頑張ります。

在任4年



豊かな自然に囲まれて、明るく素直な子どもたちと過ごした4年間、毎日とても楽しく本当にあつという間でした。そして、田植え・運動会・町探検・稲刈り・オータムフェスティバル・学習発表会・スキー教室などの活動で子どもたちの頑張る姿にたくさんの感動をもらいました。私にとってどれも大切な思い出です。

地域・保護者の皆様からは、いつもあたたかいご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。大変お世話になりました。

在任10年



上北谷小学校に来て10年たちました。入学式と卒業式を10回見ました。田植えと稲刈りを10回しました。春夏秋冬を10回過ごしました。

子どもの笑顔と真剣に話しかけてくる姿、ものすごくうれしかったです。グラウンドにも校舎にも田んぼにも山にも、すべてに愛着があり好きでした。ゆったりとした時間と空間、人生の中で一番幸せな10年でした。

関わっていただいた全ての人に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。